

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	阿波保健福祉センター浴室棟 阿波地域農産物等活用型総合交流促進施設「あば交流館」
(2) 指定管理者	所在地 津山市阿波1216番地1 名称 一般財団法人 あばグリーン公社 代表者 理事長 大下 順正
(3) 公の施設の所管部署	産業経済部 みらい産業課
(4) 指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
(5) 評価対象期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	阿波保健福祉センター浴室棟 37,612人(前年度39,609人) 阿波地域農産物等活用型総合交流促進施設「あば交流館」 11,574人(前年度10,637人)
(2) 事業の内容	温泉施設, 飲食・宿泊施設の運営・管理及び自主事業

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 62,186千円(前年度65,128千円) 利用料金等収入 50,962千円 指定管理料 10,677千円 その他の収入 547千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 67,972千円(前年度66,326千円) 主な支出 仕入費 14,658千円 人件費 30,091千円 事業経費 23,223千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	温泉の泉質, 温度, 湯量・施設の設備や宿泊サービス・料理・土産物等についてアンケートを実施している。
-----------------	---

<p>(2) 指定管理者の自己評価</p>	<p>平成29年度は、事業項目により収入減となったものが多く、事業収入全体で前年度より減となった。</p> <p>利用者の減少傾向対策として、Facebookによる情報発信、広報や議会だよりなどへの入浴無料券の協賛、LINEによる割引クーポンの発行など、市内・市外双方への情報発信を行った。</p> <p>また、ふるさとまつりやウォーキング大会などこれまでも協力してきた地域イベントに加え、あば村マルシェやあば暮らしの小学校とのコラボレーション企画など、あば地域全体で取組みを進めている新しい地域おこしの試みと連携することにより、「あば村」の一員として、より地域性を活かしていく事業の展開を図った。</p>
<p>(3) 市の評価</p>	<p>経常収益について昨年度よりも大きく減少しており、それに伴い近年縮小傾向であった経常収益費用差が前年度よりも広がっている。温泉設備や宿泊サービスについて実施されているアンケート調査の結果を検証し、利用者の満足度を向上させて新規の利用者やリピーターの確保等に努めてもらいたい。</p> <p>平成27年度から開始したFacebookやLINEといったSNSの活用による情報発信への取組みは現在も継続されており、引き続き津山市内外への広報手段として新規の利用者やリピーターの確保に役立ててもらいたい。また、集客を目指したイベントとして温泉の入浴料を割引く「風呂の日（毎月26日）」も継続されている。今後もふるさとまつりなどの地域イベントとのコラボや、施設の特徴を生かした独自の取り組みなど積極的な施設運営に期待する。</p>